

阿部の  
鳴戸

2022年度春期オープンカレッジ

「オルセー美術館あちらこちら  
—150年前のパリヘタイムスリッパ—」

全6回  
受講料  
13,200円  
5/20開講  
申込期限:5/2  
(定員あり)

講師: 阿部 明日香  
(外国語学部 フランス語学科 准教授)

「世界の北斎」を発見した19世紀フランスの文学者や画家たちは、どのような社会に暮らしていたのでしょうか。急速にグローバル化した経済世界の覇者となったヨーロッパ各都市には、当時さまざまな文物や情報が集積していました。とりわけ、パリは最新の芸術スタイルや新しい表現技術(写真、映画)の揺籃の地でもありました。本講座では「19世紀を丸ごとパッケージする」ことを目指すオルセー美術館のコレクションから、毎回テーマごとにいくつかの作品をピックアップしてご紹介します。産業と芸術の間を往復しながら、当時の人々の感覚との接触を試みます。

第4回 6月10日(金)はゲストに浦上 満氏!  
「ジャポニズムの扉を開けた『北斎漫画』」

・全6回完結の講座である為、1回分の受講はできません。  
・詳しくは講座案内、及びホームページでご確認ください。

獨協大学 オープンカレッジ

特別講座

世界を驚かせた北斎と『北斎漫画』

【申し込み方法】

1. 会場での受講を希望(定員:200名/定員を超えた場合は抽選)  
【期限:3月14日(月)当日消印有効】往復ハガキで申し込む↓(下の通り)

<p>郵便番号はがき</p> <p>(63円)</p> <p>〒340-0042</p> <p>独協大学 エクステンションセンター オープンカレッジ特別講座</p> <p>草加市学園町1-1</p>	<p>(何も書かない)</p> <p>返信の表面</p> <p>(63円)</p> <p>ご自身宛の住所・氏名</p>	<p>返信の表面</p> <p>1) 郵便番号・住所 2) 氏名(フリガナ) 3) 電話番号 4) メールアドレス(お持ちの方のみ) 5) オープンカレッジ会員番号 (会員でない方は、「なし」と記載) 6) アンケート:本イベントを何で 知りましたか(複数回答可) ① プログラム(チラシ) ② ホームページ ③ 広報紙・新聞 ④ 人にすすめられて ⑤ その他( )</p>
---	---	---

会場への経路(交通手段)



注意:会場での受講を希望する場合(新型コロナウイルス感染症対策を含む)

- お一人につき1通の申し込みのみ受け付けます。
- 講座当日は、入構の際に受講券が必要。なお、定員を超えた場合には、厳正なる抽選を行い、3月22日(火)までに結果通知します。
- 受講券の売買を禁じます。判明した場合には、申込者の受講資格を取り消します。

\*座席の間隔を空けて着席してください。  
\*講座当日、入構の際はマスク着用の上、検温と手指の消毒を行ってください。  
なお、体調不良の場合には無理せず、受講を取り止めてください。

2. オンライン配信(Zoomウェビナー)による受講を希望(定員なし)  
【期限:3月25日(金)午前10時】  
次のURLから申し込む → <https://bit.ly/3sa38MN>  
(獨協大学 オープンカレッジHPから進むと、簡単に申し込みます)



世界一の『北斎漫画』コレクター、その魅力を語る。

獨協大学 エクステンションセンター (オープンカレッジ事務局)

〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1  
TEL 048-946-1678 FAX 048-946-1935  
[https://www.dokkyo.ac.jp/extension\\_center/opencollege/](https://www.dokkyo.ac.jp/extension_center/opencollege/)  
e-mail: open-college@stf.dokkyo.ac.jp

開室・受付時間(祝祭日を除く)  
月~金曜日 9:00-17:00  
土曜日 9:00-12:00

©新型コロナウイルス感染症の推移によっては、開催を延期する場合があります。詳しくはHPでご確認ください。

日時 2022(令和4)年3月26日(土) 午後2~4時(開場は30分前)  
会場 獨協大学 天野貞祐記念館 大講堂  
講師 浦上 満 (浦上蒼穹堂 代表/獨協大学 卒業)

主催: 獨協大学 / 共催: 草加市

事前申込制  
〈受講料:無料〉  
対面形式:定員200名  
オンライン:定員なし



# 北斎略年譜

凡例 年齢は数え年で記載している。制作年が期をまたぐ、または続刊の場合は、初編(または巻一)を起点とした。  
Katsushika Hokusai  
1760-1849

宝暦十年(1760) - 安永七年(1778)

1  
↓  
19 歳

宝暦十年九月二十三日(1760年10月31日)に下総国本所割下水(現在の東京都墨田区亀沢)で生まれる。6歳の頃から絵を描くことに興味を示し、12、13歳頃に貸本屋で働く。14歳には木版画の版木彫りの職に就く。

## 春朗期

20  
↓  
35 歳

安永八年(1799) - 寛政六年(1794)

19歳となった北斎は、浮世絵師の勝川春章に入門。修行に励み、翌年20歳になった北斎は「勝川春朗」の画号でデビュー。役者絵を中心に浮世絵版画、黄表紙の挿絵を数多く残す。

## 宗理期

36  
↓  
38 歳

寛政七年(1795) - 寛政十年(1798)

勝川派を離脱し、36歳となった北斎は「宗理」と名乗り、琳派を学びつつも独自の様式を確立。摺物、肉筆画、そして当時江戸で流行していた狂歌本の分野で評判を得るようになる。特に楚々として可憐な美人画は「宗理型美人」と称され、人気を博した。

## 北斎期

39  
↓  
54 歳

寛政十年(1798) - 文化十年(1813)

宗理の号を門人に譲り、自らは「北斎辰政」を名乗る。改号を周知するために摺物《亀図》を自費で発行し、配布する。これは、他の流派に属することはなく、独自の道を進むことになる北斎の独立宣言でもあった。この時期は、読本を多く手がけ、この分野の第一人者となった。文化九年(1812)には、関西方面に旅行し、途中逗留した名古屋にて、「北斎漫画」初編の版下絵300図を描き残した。

## 阿部 明日香

(フランス語学科 准教授 / 西洋美術史)

術雑誌『ガゼット・デ・ボザール』誌で「日本が生んだもっとも重要なアーティスト」と評するまでになりました。フランスで出版された最初の単行本のひとつは、作家エドモン・ド・ゴンクール(各国文学賞の範となった「ゴンクール賞」創設を遺言した人物です)による『北斎:18世紀の日本美術』(1896年)で、この中でルネッサンスの巨匠ミケランジェロを引っ張り出してまで、北斎を持ち上げています。

しかし一方では、当時の日本人の常識感覚からすれば、浮世絵ごときが「国を代表する絵画」と評されることには我慢ならなかったに違いありません。日本文化の文脈をまるで度外視した、フランスの批評家たちによる北斎の発見と礼賛が、現在の世界的評価の端緒となったのです。

## 戴斗期

55  
↓  
60 歳

文化十一年(1814) - 文政二年(1819)

『北斎漫画』(初編〜十編)を集中的に手がけるほか、『略画早学』『三体画譜』『画本早引』など、絵手本の制作に意欲を注ぐ。

## 為一期

61  
↓  
74 歳

文政三年(1820) - 天保四年(1833)

北斎の筆は衰えるどころか、ますます旺盛となり、画技を極める。今日でも日本ないし国際的に知られる北斎の錦絵版画『富嶽三十六景』や『諸国瀧廻り』、『諸国名橋奇覧』ほか、『百物語』といった代表的な作品が、この70代前半の時期に集中的に発表され、北斎の名を不動のものにした。肉筆画では風景や静物を画材とした精彩を放つ秀作を数多く残すようになる。

## 疋期

75  
↓  
90 歳

天保五年(1834) - 嘉永二年(1849)

人気を博した錦絵や風俗の画材から離れ、自然や龍や鳳凰、獅子といった想像上の生物、中国の故事や宗教的な画材を中心に描き始める。90歳で生涯を終えるが、この時期の肉筆画には真正の画工に一步でも近づけず、時を刻むかのように、署名に年齢を書き込んでいる。最晩年の落款印は、「百」を形取ったものだった。

## 「北斎漫画」との出会い、は獨大生の頃から



うらがみ みつる  
講師： 浦上 満

1951年東京生まれ。獨協大学外国語学部英語学科卒業。学生時代に『北斎漫画』の魅力に取りつかれ、現在まで50年かけて1500冊以上を蒐集。質・量ともに世界一のコレクターとして知られる。東京・日本橋で東洋古陶磁を扱う「浦上蒼穹堂」を経営。東京美術倶楽部常務取締役、国際浮世絵学会常任理事、東洋陶磁学会監事。著書に『中国・朝鮮古陶磁の見かた、選びかた』(淡交社)、『北斎漫画入門』(文春新書)など。



すずめ踊り

## 出会い、頭の衝動買い

私が初めて『北斎漫画』に出会ったのは一八歳の時でした。まだ学生で当然小遣いにも不自由していましたが、思わず衝動買いをしてしまったのです。もちろん「北斎漫画」という名前くらいは知っていましたが、実際に本物を見たたん、むしろ欲しくなりました。その姿が生き生きとして、面白く、とても身近に感じられたからです。衝動買いというのは、大抵あとで後悔するのがオチですが、『北斎漫画』にはそれが全くなく、その後も買い続け、何と四八年経った現在も買い続けています。蒐集数も一五〇〇冊に達しました。「なぜ、そんなに集めるのか」とよく訊かれますが、やはり「北斎漫画」が好きだし、見ていて飽きないからとしか答えようがありません。



浦上 満 『北斎漫画入門』(文春新書、2017年10月)より

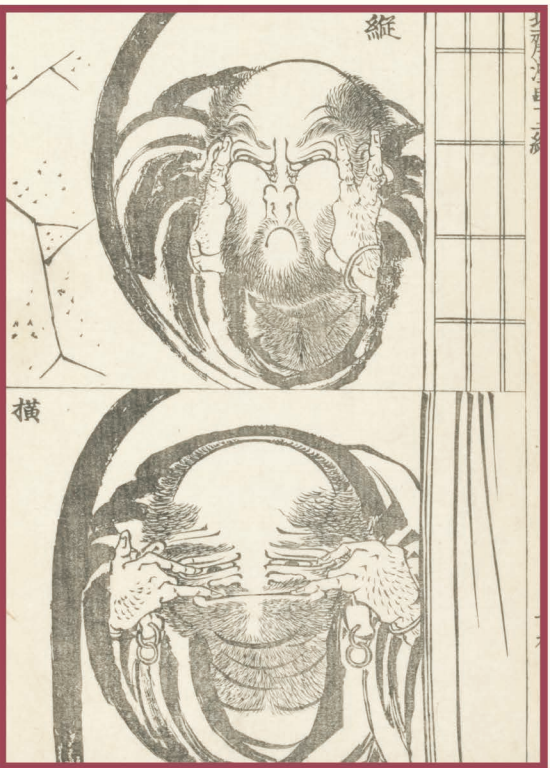
## 講義概要

江戸時代後期の浮世絵師・葛飾北斎(1760-1849)は、自ら「画狂人」と称するほど終生描くことに情熱を燃やし、九十年に及ぶ人生を画業一筋に歩んできたことはよく知られています。このような北斎の尽きることのない探求心が盛り込まれているのが『北斎漫画』全十五編であり、不朽の名作『富嶽三十六景』と並んで彼の代表作とされています。

『北斎漫画』でいう漫画とは、折りにふれ、筆のおもむくままに描いた絵といった意味であり、森羅万象あらゆるものを題材に描き、まさに眼で見る江戸百科ともいべきものです。『北斎漫画』は、日本国内だけでなく19世紀中頃からヨーロッパにも伝えられ、ジャポニスムの流行をひきおこす原動力となり、マネやモネ、ドガをはじめとする印象派の画家にも多大な影響を与えました。今回の講義では北斎の全体像と『北斎漫画』の魅力を徹底的に解剖します。



群言象を撫でる



顔(「縦」、「横」)